

INFORMATION *Circular*

JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

■役員選挙の結果……………第9期選挙管理委員会……………	1
■会長(再選)挨拶……………加藤淑裕……………	1
■第18回大会の御案内……………大会委員長・大西英爾……………	2
■第10回国際発生生物学会議について…国際発生生物学会会長・ 岡田節人……………	2
■ナポリ臨海実験所派遣研究者募集について……………	3
■会計からのお願い……………	4
■地方だより……………	5
■日本学会議第95回(臨時), 第96回総会報告……………	7
■会員名簿の訂正……………	9
■会員異動……………	9

NO.49

DECEMBER 1984

日本発生生物学会

〒158 東京都世田谷区深沢2-1-1

東京都立大学生物教室内

日本発生生物学会の諸組織は以下のとおりです

会 長：〒 194 町田市南大谷11
三菱化成生命科学研究所 発生生物学研究室
加藤淑裕（電話 0427-26-1211 内線244）

DGD編集主幹：〒 812 福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学理学部生物学教室
山名清隆（電話 092-641-1101 内線4408または4410）

DGD編集幹事：〒 730 広島市中区東千田町1-1-89
広島大学総合科学部
天野 実（電話 082-241-1221 内線357）

事 務 局：〒 158 東京都世田谷区深沢2-1-1
東京都立大学理学部生物学教室
（電話 03-717-0111 内線 364, 365）
（幹 事 長）^{ヤナギサワ トミオ} 柳沢 富雄
（会計幹事）^{ウエムライ サオ} 上村伊佐緒
（庶務幹事）^{ヤザキ イクコ} 矢崎 育子

学会センター：〒113 文京区弥生2-4-16
学会センタービル内日本学会事務センター
日本発生生物学会係（電話 03-815-1903）

入退会、会費納入、および出版物（DGD、サーキュラー等）の郵送については、上記学会事務センターに書面で御問合せ下さい。

1. 役員選挙の結果

第9期 選挙管理委員会

(田沢栄五郎, 石田克美, 灰野和)

10月19日締切, 翌20日に中島陽子氏(慶応大・生)立合いのもとに開票した。総投票数 133 で, 以下のように, 会長, 運営委員が決まった(敬称略)。

会 長 加藤淑裕(三菱化成生命研)

運営委員(五十音順)

天野 実(広島大・総合科学部)

石崎宏矩(名大・理・生)

大西英爾(名大・理・生)

岡田節人(京大・理・生物物理, 基生研)

片桐千明(北大・理・動物)

黒田行昭(国立遺伝研)

塩川光一郎(九大・理・発生生物)

杉山 勉(国立遺伝研)

竹市雅俊(京大・理・生物物理)

団 まりな(大阪市大・理・生)

東中川 徹(都立大・理・生)

毛利秀雄(東大・教養・生)

山名清隆(九大・理・生)

米田満樹(京大・理・動)

2. 会長(再選)挨拶

今回, 図らずも当学会の会長に再選されました。顧りみますと, この二年間, 何とか大過なくやってこられたのも, 学会諸兄姉の一方ならぬ御援助のお蔭と, 心から感謝しております。

私達の学会も, 岡田節人国際発生生物学会会長の国際的な学問的リーダーシップを頂点として, 学会員各位の努力により, 国際的に大きな発言力を持つまでに至りました。又, 山名清隆・天野実両会員の献身的御努力を中心として, 私達の Journal, D. G. D., の評価も一年一年上ってまいりました。先頃東京で行われました, 第3回国際細胞生物学会における私達の学会員の活躍もまた, 際だったものであったと存じます。何よりも心強いのは, 次の世代を担う若い人達の活躍と, 当学会に対する愛着であり, この人達にどうやって橋渡しをしていくかが, 私の一番大きな任務であると思っております。

私の持論と致しまして, 学問は“sound”でなければいけないと思います。時により, 発生生物学の流れも, 或る方向に大きく傾く時期があるのも, 当然のことと思います。しかしながら, 私達の学問が, 多彩な生物の様々な発生現象の上に成り立っている事自体, 一つの方向に偏向することの危険性を示していると思います。幸いなことに, 大会の発表等を通じて, 私の得ており

まず印象は、私達の学会は多様な研究対象とそれぞれに特色のあるアプローチに富んだものであり、このことが私達の学会を健全なものにしていることをつくづく感じております。今後共、この好ましい多様性を大切にしつつ、関連諸領域との密な接触を保って行く所存でおります。

末尾になりましたが、柳沢富男教授を初めとする事務局の方々の多大な御苦勞に心から感謝したいと思います。

昭和 59 年 11 月

三菱化成生命科学研究所

加 藤 淑 裕

3. 第18回大会の御案内

第18回の大会を、昭和60年5月9日(木)、10日(金)、11日(土)の3日間、名古屋で行なうことになりました。会場は名古屋大学東山キャンパスの豊田講堂です。一般講演はすべて展示とし、講堂のロビーを使用します。総会と特別講演は講堂のホールを使用します。第1日は午後1時から始める予定です。また、3日目の午後にワークショップを行なうこととし、テーマを公募します。希望者は、テーマ、内容のサマリー、予定スピーカー、予想参加人数、責任者名をお知らせ下さい。応募多数のときには、会場の都合などから見送らせて頂くことがあると思いますが、御諒承下さい。一般講演、ワークショップとも、締切日は2月16日(土)と致します。懇親会は2日目に予定しています。詳細は同封の別紙大会案内をご覧ください。多数の会員の御参加をお待ちしております。

名古屋大学理学部生物学教室

第18回大会準備委員会

委員長 大 西 英 爾

4. 第10回国際発生生物学会議について

来たる1985年8月4日から9日までの間、ロス・アンジェルスにおいて第10回国際発生生物学会議が開催されます。4年ごとに開かれますこの会議は(1977年東京、1981年スイス・バーゼル)、国際発生生物学会の最も大きな事業であり、発生生物学の進展において重要な国際的交流の機会を提供できるものと自負しております。

今回の会議の開催地は、わが国からも比較的には近いアメリカ西部海岸のことでもあり、多数の日本人研究者の御参加を強く期待しております。

この会議で発表を希望される方々の、アブストラクト提出の期限は、最初1984年8月15日とされていましたが、これは余りにも早過ぎたように思われ、12月12日までと延期しました。しかし、この日本発生生物学会のサーキュラーが12月上旬に発刊されることを考慮し、日本からのアブストラクトの受理を12月31日まで認めて頂くよう準備委員会で配慮して頂けることになっています。

会議への参加は、どなたでも自由でありまして国際発生生物学会、日本発生生物学会会員であ

ることを要しません。なお参加費は12月31日まで申込みの場合 185 ドル、1985年6月1日までに申込みの場合は 200 ドルとなっています。学生割引があります。

国際発生生物会議のサーキュラーは少数が私の手許にありますので、請求下さればお送りできます。もちろん準備委員会 (1985 ISDB Organizing Committee, Andrus Gerontology Center, University Park-MCD191, University of Southern California, LOS ANGELES, California 90089-0191, USA) に連絡されれば送られてきます。

多数の日本からの参加のあることを心から期待しています。

国際発生生物学会会長

岡田 節 人

京都市左京区 京都大学理学部生物物理学教室

岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所

なお、この件のお問合わせについては (京都大学宛 (TEL 075-751-2111, 内4195または4196) お願いします。小生不在の節は近藤または長谷へ御連絡下さい。

5. ナポリ臨海実験所派遣研究者募集について

去る8月、日本学術振興会より本学会に以下のような「ナポリ臨海実験所派遣研究者募集要項」が寄せられましたが、サーキュラー48号の発送後であったため、申請受付期間内に、皆様にお知らせすることが出来ませんでした。

来年度も又、同じ時期に募集が行われるとしますと、サーキュラーの発行に間に合わない可能性が大でありますから、関心をお持ちの方は、8月頃、下記の所と直接連絡をお取り下さい。

連絡先 〒102 東京都千代田区麹町5-3-1 (ヤマトビル)

日本学術振興会研究協力課ナポリ臨海実験所派遣研究者係

電話 (03) 263-1721 (代表)

昭和60年度 ナポリ臨海実験所派遣研究者募集要項

1. 趣 旨

日本学術振興会は、国際学術交流事業の一環として、昭和40年度以来イタリアのナポリ臨海実験所 (Stazione Zoologica di Napoli-1874年に設立された国際的な海洋生物学の研究機関) に研究者を派遣している。なお、この事業は昭和59年度から、制度的に本会とイタリア学術研究会議 (National Research Council of Italy-CNR) との間で実施している研究者交流事業の下に組込まれることになった。

2. 応募資格

派遣の対象となる者は、我が国の大学等学術研究機関において常勤の研究の職に就いている研究者であること。

3. 対象分野

海洋生物学の分野

4. 募集人員・派遣期間

◇教授・助教授級 1人 2週間～1か月

◇助手級 1人 4～5月

5. 経費負担区分

◇本会負担：渡航費—可能な範囲の低廉航空賃

◇CNR負担：滞在費—短期 80,000リラ/日

長期 1,200,000リラ/月

国内旅費—実費支給

6. 申請手続

希望者は、その所属する大学等学術研究機関の長の承諾を得て、次の書類を提出すること。

1) ナポリ臨海実験所派遣研究者申請書(様式1)

正本1部 写し4部(使用用紙A4に限る)

2) 派遣研究者申請者調書(様式2)

正本1部 写し4部(使用用紙A4に限る)

7. 申請受付期間

昭和59年10月1日(月)～昭和59年10月31日(水) 必着

8. 選考ならびに結果の通知

昭和59年11月中旬にナポリ臨海実験所派遣研究者選考会を開催し、派遣研究者の選考を行う。

選考の結果については、12月上旬ごろに通知する。

なお、派遣に際しては、事前にイタリア学術研究会議の承諾が得られることが必要であるので、正式の採用通知はその結果を待って行う。

9. その他

募集要項・申請書等が不足した場合は、前記連絡先に連絡されたい。

6. 会計からのお願い

DGD別刷の無料提供などの結果11月10日現在での今年度の会計収支の見込は大幅な赤字です。特別会計からの借入金は予算よりも30万円増えて計70万円となる見込です。特別会計のうち前回の募金の残りはこれでほとんどなくなり、成茂からの寄付金だけになります。成茂寄付金は旅費の援助に使うことに決まっていますので、来年からは70万円前後の赤字となります。

No.48のサーキュラーでもお願いしましたが、再び増収に御協力下さるようお願いいたします。DGDの広告が最も効果的です。年間1ページ15万円ですので10件とれば財政はかなり安定します。学会の活動が盛んになるにつれ支出も増加していきます。よろしくお願いいたします。なお前回のお願いでDGDの広告は3件計35万円の契約がとれました。御協力を感謝いたします。

(会計幹事 上 村 伊 佐 緒)

7. 地方だより

この度、九州より長年「発生懇話会」として活動のあった旨の記事をいただきました。

事務局では、このような各地域での活動の様子をお寄せいただければ「地方だより」として皆様にお知らせしたいと思います。

—地方だより— 九州・山口「発生懇話会」

(熊本 鈴木明郎)

約20年前に、当時の九大教授の川上泉先生が九州・山口の研究者で発生現象に興味を持っておられる人々の集まりをしたいと計画され、数回夏休みに九重シンポジウムとして開催されたことがあります。その後、大学紛争・その他の悪条件が重なり中断していました。ところが、4年前に山名先生(九大・理)・伊東先生(熊本・理)・藤本先生(熊本・医)などの発案で「発生懇話会」として再開することになりました。一回目(1981年8月)を熊本、二回目(1982年8月)を九大、三回目(1983年7月)を鹿大・宮大の世話で、いずれも九重の研修所で開催し、参加者も毎年30名前後で時を忘れての討論も多く見られました。今年は、長大・医学部の池田先生(第一病理)の世話で島原で開催され、参加者も多く盛会でした。来年も是非続けたいとの希望も多く、山口大・医学部の梶井先生(小児科)に世話をいただくことになり、益々の発展が期待されています。

以上、九州・山口の研究者を中心にした「発生懇話会」について簡単に報告させていただきました。これまでの演題は下記の通りです。来年度は予め全国の皆様にサーキュラーで御案内したいと思っております。

第1回(昭和56年8月11—12日)

1. ツメガエルのRNA合成について 塩川光一郎(九大・理・生物)
2. 血管新生と脂肪細胞の分化 宇宿源太郎(熊本・体質研・病理)
猪山 賢一(熊本・体質研・病理)
3. ラット大腸粘膜の粘液産生細胞 津山新一郎(鹿児島大・医・解剖)
4. 骨および象牙質石灰化球の観察 林 宏文(産業医大・動物研究センター)
5. 発生学における電気生理学的研究 伊東 鎮雄(熊本・理・生物)
6. 中胚葉組織の初期発生 金田 照夫(名古屋大・理・生物)
7. 個体発生における情報の担い手 —核と細胞質の関係—
芋生 紘志(宮崎大・教育・生物)
8. 先天異常発現機構の解析 —マウス口蓋裂をモデルとして—

a) 塩化メチル水銀(MMC)による口蓋裂の誘発とその防御

藤本十四秋(熊本・医・解剖)

- b) MMCの口蓋形成に及ぼす影響 平田 秀一(熊大・医・解剖)
- c) MMCの胎仔内動向と分布 保田 叔昭(同上)
- 9. ヒト胎児・新生児にみられる異所脾 宮原 晋一(佐賀医大・病理)
- 10. 胞状奇胎の発生機序 ―雄性生殖について― 萩原 啓二・小林 邦彦(山口大・医・小児)

第2回(昭和57年8月5―6日)

- 1. リボゾームRNA遺伝子の構造と発現 東中川 徹(産業医大)
- 2. ツメガエル胚発生とrRNA遺伝子発現 小林 英紀(九大・理・生物)
- 3. マウストリソミーの実験的研究 宮原 晋一(佐賀医大・病理)
- 追加講演 高島: マウストリソミー16の基礎的研究 ―特に発生頻度―
- 4. カエルのキメラと位置情報の話 影浦 宏(九大・理・生物)
- 5. ヒト雄核発生研究の進歩 梶井 正(山口大・医・小児科)
- 6. 雄核発生細胞の相同染色体間のDNA合成の差異 塚原 正人(山口大・医・小児科)

第3回(昭和58年7月22日)

- 1. 哺乳動物の初期発生 林 宏文(産業医大・動物研究センター)
- 2. Bis-diamine によるラットの奇形 池田 高良(長崎大・医・第一病理)
- 3. ヒト絨毛のペプチドホルモン及び妊娠特異蛋白の合成能
萩原 啓二・松尾 清巧(山口大・医・小児科)
- 4. 未熟脂肪組織の初代培養における光顕ならびに電顕的観察, 特に脂肪細胞
の形態分化と脂肪滴形成過程に関して 猪山 賢一(熊大・体質医研・病理)
- 5. ニワトリ胚始原生殖細胞の in vitro における自動運動
桑名 貴・藤本十四秋(熊大・医・第三解剖)
- 6. 遺伝子操作法を利用して現在おこなっている三種の実験について
塩川光一郎(九大・理・生物)
- 7. 両生類胚一次誘導に関する研究の現状 鈴木 明郎(熊大・教養・生物)

第4回(昭和59年8月3―4日)

- 1. イモリ胚割球細胞の興奮性 佐藤 栄治(熊大・理・生物)
- 森元 克士(熊大・医・生理)
- 2. cDNAライブラリーを用いたF9細胞の分化の解析
生熊 繁・清田 宗利・島田 和典(熊大・医・生化)
- 3. アフリカツメガエルの細胞接着分子 野村 一也(九大・理・発生生物)
- 4. 発生におけるフィブロネクチンの役割
吉永 一也・藤本十四秋(熊大・医・解剖)
- 5. ニワトリ脊髄における運動神経細胞の組織発生 岩堀 修明(長崎大・医・解剖)
- 6. ラットにおける骨基質の皮下移植による実験的骨形成 北岡 光彦(熊大・医・遺伝研)

7. アラスカカスベの発生と抗体産生細胞

友永 進・小林 邦彦・手島 和之(山口大・医・小児科)

8. サメ免疫グロブリンの個体発生

萩原 啓二・友永 進・小林 邦彦(山口大・医・小児科)

8. 日本学術会議第95回(臨時)、第96回総会報告

日本学術会議広報委員会

第95回総会(臨時)報告 —専門別定員・推薦研連決定される—

第95回日本学術会議総会は、7月10日午前9時30分ほぼ定刻どおりに始められた。まず会長から事務局長以下の事務局職員の異動について披露のあった後、第5部会員松尾新一郎氏の逝去が伝えられ、同氏の冥福を祈って一同起立黙とうを捧げた。

さて本総会に予定された課題は、7月3日公布された「日本学術会議法施行令の一部を改正する政令」によって決着をみた各部の定員及び専門を基にして、各専門別の定員及び推薦に係る研連ごとの会員数を決定することが主なものであった。

冒頭会長から、各部定数についての対政府折衝に関する前回総会の委任の下に、三役として行って来た交渉経過について報告がなされ、その要旨は以下のようであった。

総理府との折衝に当たり会長は、日本学術会議会員の中に、自然系と人文・社会系との学問の調和ある発展を望んで各部同数を主張する見解と、学問の進展と変化を考慮して傾斜配分を主張する見解とが存在すること、またその間の調整を図る会長案も出されたが、学術会議としての合意に達し得なかった等の経過を述べた。これに対し総理府側からは、法改正の趣旨からして各部同数は困難であること、また改革委員会の部制・専門別制分科会の中間報告書の数字を一応の出発点とする考えが出され、同時に三役とは合意を取りつけたものにしたいという意思表示があった。会長は、前総会に提案した会長案に近づけたものにしたいとの希望を表明し、学問分野の専門性、人文・社会、自然各分野の調和の考慮から基礎定数として各部25名を配分する。残りの35名を基礎と応用、複合領域の学問状況に応じて再配分する。この再配分された定数については、各部に一時預かってもらっているという了解にして、第13期において改めて議論する余地を残しておく。以上の趣旨に基づく数字を示して、政府の同意が得られたという経過である。

それに基づき第1部31人、第2部26人、第3部26人、第4部31人、第5部33人、第6部30人、第7部33人の各部定員が政令により決定した。したがって、この各部定数については三役が責任を負うものであり、これを基礎として、会員が専門別定員、研連等の決定の作業に協力することを求めた。

会長報告を巡って、会員の中からとくにそれが今後の学術会議の各部定数の決定についてどのような影響をもたらすかといった観点からの質問・意見が述べられた。その後部会、規則等策定委員会及び運営審議会を挟んで午後再開された総会において、会長から、第13期以降においても留意されるべき諸点を含む今回の定数決定の折衝経過を「会長所感」という形で文書で残すこと

の意思表示があった。

続いて、会長から提案された専門別定員及び会員推薦に係る研究連絡委員会を定めた規則、研究連絡委員会ごとに推薦すべき会員数及び補欠数を定めた規則、政令の施行によって法技術的に必要となった規則の若干の修正、以上3つの案件がすべて賛成の挙手圧倒の多数で可決され、本総会の重要議事は終了した。

終わりに、学協会の登録は8月中旬より開始されることが、会員推薦管理事務室より報告された。

第96回総会報告 — 180 研究連絡委員会の設置決まる —

第96回総会は、10月16、17日の2日間にわたり開催されたが、第12期会員としては、来年4月の最後の総会のみを残すこととなったので、事実上第12期と第13期との過渡にいかに対処するかという点が、最も具体的な課題となった。

冒頭の会長報告も、学術会議に関する政令に関連して、第93回総会の決定事項の処理の問題に重点がおかれた。各部会、諸委員会等の報告も、極めて簡略に行われた。運営審議会付置の沖縄学術研究連絡委員会の報告（沖縄の自然環境についての問題点）、科学者の地位委員会の婦人研究者の地位分科会の報告、久保4部会員のICSU（国際学術連合会議）総会への出席の報告と、1988年の同総会を日本で開催することへの展望等が、具体的な報告であった。これらの報告の後、規則等策定委員会及び諸分科会の報告とともに、後述の諸提案が第1日目の午後と第2日目の午前の各部会の検討にゆだねられることとなった。

○ 180 研連の設置 11月から新発足

第2日目の午後再開された総会の最初の提案は、「会則の一部を改正する規則」、「研究連絡委員会の設置について」であった。日本学術会議法第15条で、「科学に関する研究の領域及び重要な課題ごとに、法第3条第1項第2号の職務（「科学に関する研究の連絡を図り、その能率を向上させること」）の遂行に資するために必要な事項を調査審議させるため」に、研連が初めて明文化されたのである。この提案はこれに基づいて、180の研連を設置し、本年11月1日を期して新たに発足させるもので、問題なく可決された。

○ 「研連の設置基準及び実施要領」決まる

研連の設置基準などは、研連の長い歴史を示す、多くの内規・申合せで決められていたが、新発足を期にすべて整理して「研連の設置基準及び実施要領」にまとめられた。この内規には、広領域（3部以上にまたがる研連）、各部への委員数割当ても含まれている。

この提案での争点は、研連委員の在任期間の制限規定であった。研連分科会の原案は、表現に若干の不備はあったものの、実質的には、「原則として通算9年、第13期より積算し、また、会員として委員であった期間は、算入しない」というものであった。これに対して、研連委員の在任期間の制限は、学・協会の自主性を損なう、学問分野によっては不可欠の人物もある、などの反対意見と、急速に発展している学問分野では、研連委員のしかるべき新旧交替が望ましいとする賛成意見とが対立した。かなりの時間の討議の末、在任期間の制限条項は見送られ、内規は可

決された。

○「地方区会議」について申合せ

法では選挙による地方区は廃止されたが、従来の地方区活動の重要性を引き続き保持しなければならないとして、これまでの「地方区会議」の規定を見直し、実効あらしめようとする申合せが提案された。7地方区の区分は現行どおりとし、各地方区の各部の会員（これがいないときは研連委員など）で各地方区の地方区会議を構成し、一方、広報委員会内に地方区世話人会（仮称）を置きたいとするものである。若干の字句修正の上、この申合せが異議なく承認されたので、運営審議会がこれに応じて従来の「地方区会議設置要綱」及び「広報委員会設置要綱」を次期総会までに改正することになった。

○連絡学・協会制度（従来の登録学・協会）決まる

これまで、各分野の学・協会との緊密な連絡、協力関係の維持・強化のために、登録学・協会制度があり512の学・協会の協力を得ていた。法改正により「登録学術研究団体」の名称が生じたので、これとの混同を避けるために、“連絡”学・協会と改称し、同時に認定基準を緩和することとした。この提案では、新しい「登録学術研究団体」はその団体が希望する限り自動的に連絡学・協会となることとしている。また、構成員数は100名以上、構成員が地域的に局限するときも各部の判断で認定される場合もあるなど認定基準が緩和された。現在の登録学・協会は自動的に新制度に移行することになる。さらに、学問の進歩により、複数の部に関連をもつ学・協会が増加しているので、それらが複数部の懇談会へ参加する途も開いたものである。討議の末、異議なく可決された。

総じて、この総会では、研究連絡委員会の在り方の問題を始め、長期的展望をもって検討すべき数々の基本的課題を当然残してはいるものの、どこまで第12期会員の責任において扱い、何を第13期以降の課題として期待するかという問題を、可能な限り究めようとしたと言うことができよう。

9. 会員名簿の訂正

本年8月に配布いたしました会員名簿に、次の誤りがありましたので訂正いたします。

7ページ 名古屋大・理、農、アイソトープ総合センターに教養を加える。

16ページ 「この部の小倉弘一は、13ページ「お」の部に移す。コクラではなくオグラ。

10. 会員異動 昭和59年7月～9月

<新入会員>

土 屋 利 江 国立衛生試験所 ①四肢奇形のメカニズム、

②mouse, rat

<退会会員>

中 村 健 児 (59. 7. 3. 逝去), 長谷芳美。

<住所変更>

新

旧

溝口 元 立正大・短大部・生 (連絡先(自)変更)

(自) 〒114 北区中里1-7-6 シャトー中里501

天野 寿一 名大・理・生 愛媛大・理・生

宇宿 源太郎 熊大・医・遺伝医学研究施設・発生分化 熊大・体質医学研

猪山 賢一 同上 同上

高野 純 島津製作所・中央研 名大・理・生

生沼 勉 宮崎医大・医・二解 上智大・生命科研

平野 憲一 基生研・細胞増殖 名大・理・臨海

江口 吾朗 基生研 名大・理・分子生物

金子 洋之 大阪市大・理・生 名大・理・分子生物

樋渡 宏一 〒980 仙台市台原2-6-8 東北大・理・生

山田 尚文 〒273 船橋市宮本4-3-5 東北大・理・臨海

吉崎 範夫 岐阜大・教養・生 (大学所在地変更)

〒501-11 岐阜市柳戸1-1

〔賛助会員〕

組織培養はパイレックスコーニングの岩城硝子㈱ (〒100 千代田区丸の内 3-2-3)

TEL 03-214-7401

株式会社 小澤製作所豊田営業所 (〒471 豊田市広久町 5-27-4)

合資会社 木下理化器製作所 (〒460 名古屋市中区千代田 5-22-11)

生物学・生態学洋書のことならグリーン洋書㈱ (〒211 川崎市幸区小倉610-1-506)

TEL 044-533-0470

日製産業株式会社 (〒453 名古屋市中村区名駅4丁目6-18 名古屋ビル内)

株式会社 培風館 (〒104 千代田区九段南4-3-12)

最良の選択ファルコン組織培養器具ベクトン・ディッキンソン・オーバーシーズ Inc.

(〒107 港区赤坂8-5-84 島藤ビル) TEL 03-403-9991

マウス・モノクローナル抗体(アロ抗体)は明治乳業㈱ (〒104 中央区京橋2-3-6)

TEL 03-271-4333

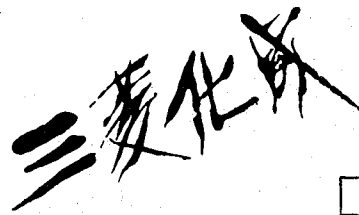
三菱化成生命科学研究所 (〒194 町田市南大谷11号)

科学の技術に奉仕する理工学社 (〒113 文京区本駒込5-9-10)

TEL 03-828-5211

次代を担うバイオテクノロジー和研薬株式会社 (〒606 京都市左京区北白川西伊織町25)

TEL 075-721-8111



なか しべ つ

中標津血清

ライフインダストリーの三菱化成が採血から濾過まで一貫国内生産
最終濾過は孔径 $0.1\mu\text{m}$ のメンブレンフィルター使用

準胎児血清

生後24時間以内で初乳を飲む前の新生仔牛から採血

新生仔牛血清

生後2週間以内の新生仔牛から採血

成牛血清

1.5才以上の牛から採血

ARMOUR血清

Armour Pharmaceutical Company (U.S.A.) 製造

胎児血清

(Rehatuin® F.S.)

仔牛血清

生後16週間以内の仔牛から採血

何れもロットチェック用サンプルを提供致します。



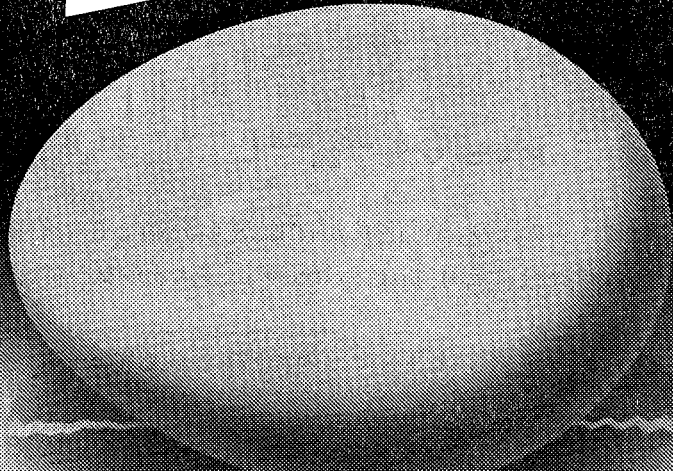
三菱化成工業株式会社 医薬事業部

〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2(三菱ビル)
☎03(283)6791(直通)

大阪支店化成品部門
☎06(208)4560(直通)
東京支店化成品部門
☎03(283)6100(直通)

名古屋支店化成品部門
☎052(562)2556(直通)
九州支店化成品部門
☎092(291)8891

増殖 エネルギー



増殖を支える大きな力、組織培養用培地 —— 日水製薬から

■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 グルタミン・重曹不含	イーグルMEM培地①
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 PR・グルタミン・重曹不含	イーグルMEM培地②
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 KM・PR・グルタミン・重曹不含	イーグルMEM培地③
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 浮遊培養用・グルタミン・重曹不含	イーグルMEM培地④
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 アミノ酸4種・グルタミン・重曹不含	イーグルMEM培地⑤
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 グルタミン・重曹不含	イーグルBME培地
イーグルMEMアミノ酸ビタミン培地	
■抗生物質・重曹不含	ダルベッコ変法イーグル培地①
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 グルタミン・重曹不含	ダルベッコ変法イーグル培地②
■重曹不含	199培地
■製法特許・重曹不含	ハムF12培地①
■重曹不含	RPMI1640培地①
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 グルタミン・重曹不含	RPMI1640培地②

■重曹不含	フィッシャーの培地
■製法特許・高圧蒸気滅菌可能 グルタミン・重曹不含	ES培地
■重曹不含	ハンクス液①
■PR・重曹不含	ハンクス液②
■重曹不含	アール液
■ダルベッコ	PBS(-)粉末
■ダルベッコRBS用	金属塩類溶液
■無菌凍結乾燥	グルタミン



製造発売元

日水製薬株式会社

本社 〒170 東京都豊島区巢鴨2-11-1

電話 03 (918) 8166 (代)

営業所 東京・関東・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌

SIGMA
PRICE LIST
APRIL 1977

BIOCHEMICAL AND ORGANIC COMPOUNDS

for Research
and **DIAGNOSTIC CLINICAL REAGENTS**

IT'S EASY TO ORDER from SIGMA

Telephone COLLECT
(Charges Deferred)
from Anywhere in the World.
A.M. 10 - P.M. Monday - Friday
A.M. 10 - P.M. Saturday, Sunday and Holiday
314-771-5750

TO PLACE AN ORDER
Tell your operator that you want to place a collect call. To ensure a successful call, please follow these instructions:
Since this is our Order Department, you will receive our best & most complete list for the "Order Department" on any certain day. However, it is a good idea to get the name of the person you talk to in case a problem develops later.
TO CALL OUR CUSTOMER SERVICE DEPT. 314-771-5765
To discuss & enjoy our products, please call.
If you have any trouble getting really excellent service at the above numbers, please write for (free) literature. Please send us your name and address.
Monday - Friday
314-771-5765

SIGMA シグマ製品がブーンと お求めやすくなりました！

日本特殊薬品では、アメリカ・シグマ社と代理店
契約を結び、シグマ社最新カタログの全製品を、
下記の要領で簡単にお求めいただけます。

- シグマ社の製品一切は、ご使用者への直結販売にかぎります。●遠隔地へのご送品には、荷造り・送料を実費申し受けます。少量の場合には、代金引換えにてお願いすることがあります。●汎用品はできるだけ常備していますが、品切れ、その他の場合は約1カ月のうちに取りよめます。(船便のときは約2カ月後)

お問い合わせは下記へ

(シグマ社受権代理店)
日本特殊薬品株式会社

大阪市西区京町堀1丁目8番22号(〒550) ☎06(448)2261(代表)
私番箱番号(〒530-91) 大阪中央局第755号

Call the numbers in this book. Collect or Remote. (and usually don't always) available. If you don't reach our office by your list.

TELETYPE - TWX - Telex 910-761-0593

If you have a TWX machine you may dial us directly.
If you have a telex machine, contact your telex representative for instructions. Don't try to dial our TWX number on a regular telex machine - it won't work. You must have a telex machine.

To call by collect or other a TWX or Telex machine, obtain your telephone representative for instructions.

Although we accept collect telephone messages, they are allowed by only a few countries. Check with your telephone representative for details. If you cannot send your message collect, we will be happy to telephone the cost if you send us a copy of the message and the charges.

Our answer book lists "Ask Us Collect". Although you may send messages to us at night, we respond immediately. Our telexes are answered Monday through Friday between 1200 and 0600, and all day Saturday and Sunday.

PLEASE HELP US TO HELP YOU

If at all possible, don't send us a CONFIRMED PURCHASE ORDER at all. If we have no useful purchase after your phone order is changed, and no shipment, or a duplicate shipment which is not returnable, we will not return returned requests.

If a purchase order MUST be sent anyway, be sure it is clearly marked
"CONFIRMATION DO NOT DUPLICATE"

SIGMA
CHEMICAL COMPANY



We have cultured Human, Rat, Mosquito...

Primary Cells

Monkey
Kidney (African Green)
Kidney (Cynomolgus)
Testis (African Green)*
Mouse
Embryo (Swiss)
Kidney (Swiss)
Rat
Embryo
Kidney
Hamster
Embryo
Kidney
Rabbit
Kidney
Guinea Pig
Kidney
Chicken
Kidney
Canine
Kidney
Feline
Kidney
Lung
Ferret
Kidney
Bovine
Embryonic Kidney
Embryonic Lung
Embryonic Skin & Muscle
Calf
Kidney

Cell Line

Human
A549
Amur II
AV-3
Bec II
BWo
Bil 7
Bil 8
C211
CCRF-CEM
CCRF-SB
CCRF-HSB-2
Chang Conjunctive
Chang Liver
CHP-2
CHP-4
Circulicilia
Colo Du Chat
Dempsey
Detroit 6
Detroit 98
Detroit 98S
DSB/AO
DSB/AH-2
DSB/AH-R
Detroit 510
Detroit 525
Detroit 526
Detroit 532
Detroit 539
Detroit 548
Detroit 550
Detroit 551
Detroit 562
Detroit 573
EB-3
E.H.IV
FL
Flow 1000
Flow 2000
Flow 3000
Flow 4000
GH3
Flow 7000
Flow 8000
Flow 9000
Flow 10000
Flow 11000
Q 397 Clones A141B1
Q 381
Girard Heart
HEL 299
Hela
Hela 229

Human
A1720
Hela 5-3
Hep-2
HFL-1
HG 281
HT 1080
IMR-32
IMR-90
Intestine 407
J-111
Jijuye
JOU
L-132
LL-24
LL-29
LL-47
LL-67A
McKey
MG-43
Minnesota-EE
MUC-5
NCTC 2544
Raji
RD
RPMI 1788
RPMI 2850
RPMI 5666
RPMI 7666
RPMI 8228
SW-13
Tu Wt
WI-26 VA-4
WI-38
WI-38 VA-13
WI-1003
WISH
Rat
Ce
Clone 9
FR
Jansen Sarcoma
L₂
LC-840
LLC-WRC 256
M10 G1
R2C
RBL-1
RL 1022
XC
Sheep
Oe 1 B

Mouse
A1720
Balb/3T3 clone A31
Balb/3T12-2
C3H/10T1/2
C3H/MCA clone 15
C3H/MCA clone 16
Clone M-3
Ehrlich-Lettre Ascites strain E
H2DM-G1
L-10
K-Balb
L-929
L-1210
L-M
M8-III
MEL
M-Mu-Balb/3T3
MMT 050562
MOPC-31-C
MPC-11
NB41A3
NCTC clone 1469 Derivative
NCTC clone 2472
NCTC clone 2555
NCTC 4063
Neuro-2A
P3-X3-Ag8
P3-NB-1/1-Ag4-1
RAG
Sarcoma 180
SC-1
Sp2/0-Ag-14
SV-75
TCM-1
3T3-Balb
3T3-Balb SV-40
3T3-SV-40
3T3 Swiss
3T5
X63-Ag8 653
Y-1
YAC-1
Monkey
BGM
REC-1
Chimp Liver
Cv-1
DBS-FCL-1
DBS-FHML-2
LLC-MK2
LLC-MK2-D
Monkey Heart
Vero

Hamster
814 AF 28-G-3
814-150
BHK-21 (C-13)
Dera
Don
HAK
RPMI 1846
V-79 279A
Adeno 7 Hamster Tumor
Polyoma Hamster Tumor
Rous Sarcoma Hamster Tumor
Spontaneous Hamster Tumor Control
SV-40 Hamster Tumor
Rabbit
LLC-RK1
RAB-9
RK-13
S-1 Ep
SIRC
TRK-1
Guinea Pig
104C1
3Me clone 1
Bovine
BT
CPA
CPAE
EST
FBHA
Buffalo
B-6
Horse
E. Derm
Canine
A-72
C127
D-17
D-17
DCC1
MDCK
Feline
AC-D
CRFK
F-379
FHM
FHM
PK-1
PK-2
Mink
Mv 1 Lu
MCI-1
Goat
Ch 1 Es
Pig
LLC-PK1
PK-151
Minipig
MPK
Indian Muntjac
Indian Muntjac
Raccoon
P1 1 Ut
Gavili
IM-33
Dolphin
Sp 1 K
Bat
Ta 1 Lu
Duck
Duck Embryo
Goose
C88Q
Frog
AS
FT
ICR 134
ICR 2A
Cekko
GL-1
Iguana
IGH-2
Tetrapene
TH-1
Viper
VSN
VH-2
Pisces
BF
CAR
Giant Fin
FHM
RTU-2
Insects
Antheraea cells
Aedes aegypti
Aedes albopictus

大日本製薬株式会社
ラボラトリー プロダクツ部

〒564 大阪府吹田市江の木町33-94
TEL 大阪 (06) 384-1141 (大代表)

1-4

タイターテック マルチチャンネル ピペット

マイクロタイトレーションの手技において1回の操作で各列を同時に正確に液を滴下できます

- 先端のチップを交換すれば異種類の液も続けて取扱うことができます。
- 種類 0.025ml、0.050ml、0.100ml、0.200ml、(4列用、8列用、12列用)
0.005~0.050ml、0.050~0.200mlが1本で処理できる バリアブル タイプもあります。

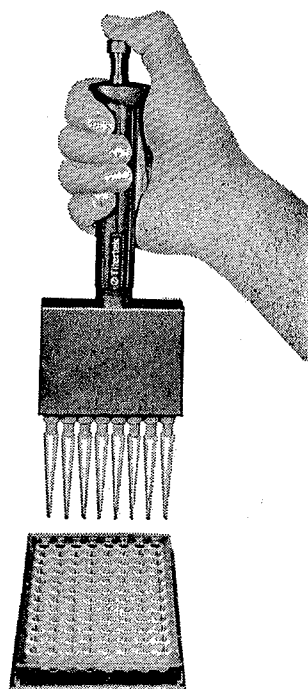
●お問合せおよびご注文は直接下記にお申しつけ下さい。



大日本製薬(株) 総合研究所
ラボラトリー プロダクツ部
組織培養センター

〒564 大阪府吹田市江の木町33-94
Tel 大阪 (06) 384-1141

提携 ① Flow Laboratories Inc., U.S.A.



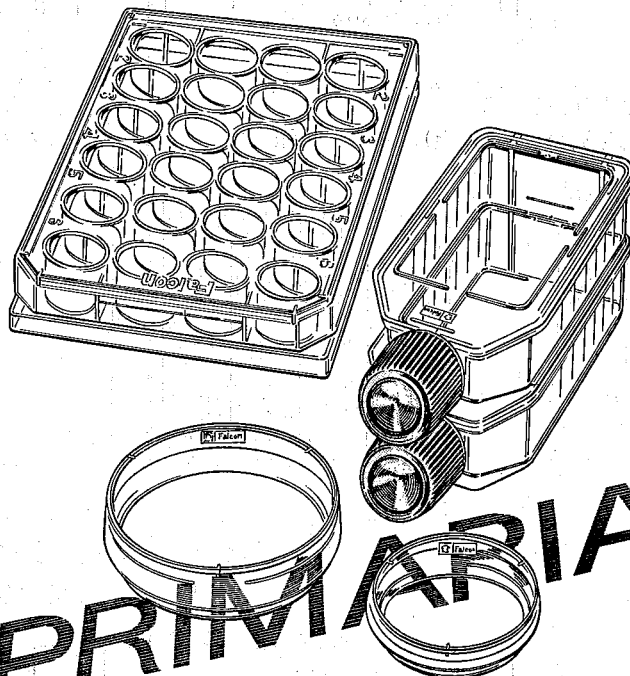
L-1

新発売

全く新しい表面処理!

プライマリアは、初代培養、継代培養が難しい細胞の培養のために、ファルコンが開発した全く新しい表面処理の組織培養器具です。

コラーゲンや他の細胞付着因子のコーティングが不要な、新しい世代の組織培養器具、プライマリアは、ファルコンからお届けします。



ファルコンプライマリアについてのお問い合わせ、
サンプル、資料ご希望の方は、当雑誌名をご記入
のうえ、下記弊社までご請求ください。

PRIMARIA

プライマリア

ファルコン組織培養器具

**BECTON
DICKINSON**

輸入販売元

Becton Dickinson Overseas Inc.

ベクトン・ディッキンソン オーバーシーズ インク

〒107 東京都港区赤坂 8-5-34 島藤ビル TEL 03(403) 9991(代)

●BD、ファルコン、Falcon PRIMARIAはベクトン・ディッキンソン アンド カンパニーの商標です

●Becton Dickinson Labwareはベクトン・ディッキンソン アンド カンパニーの事業部です



製造元

Becton Dickinson Labware

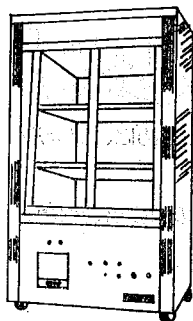
ベクトン・ディッキンソン ラブウェア事業部

Division of Becton Dickinson and Company

NK式生物研究用機器

NK式電気低温恒温器(送風循環型)

高精度普及型

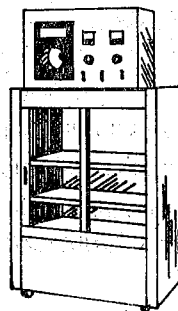


型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	26万円	30.5万円	32万円

※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プログラム電気低温恒温器(送風循環型)

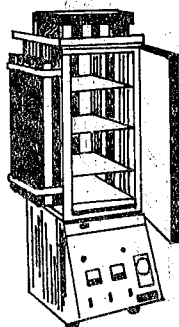
四季の温度がプログラムで自在に再現できます！



型式	LP-150 -3P	LP-200 -3P	LP-300 -3P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	49.8万円	53.5万円	60万円

NK式人工気象器

植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派！

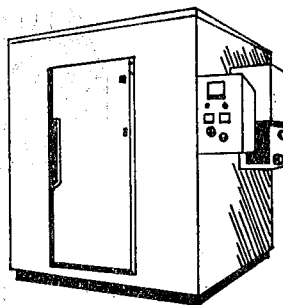


型式	LH-100 -RD型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 47万円	温・湿 度付 73万円	プログラ ム付 66万円

※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プレハブ電気低温恒温槽

組立、移設、増設が思いのまま！

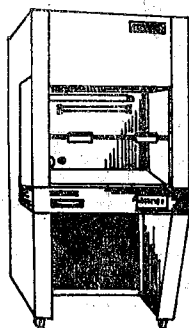


精密型

- LH型+5℃~45℃
価格1坪 1,190,000円
より各種
- LP型+18℃~45℃
価格1坪 1,290,000円
より各種

※詳細はプレハブシリーズカタログをご請求下さい。

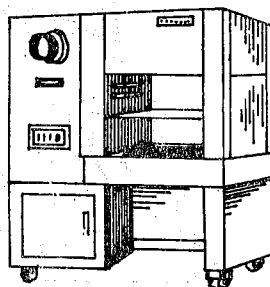
NK式クリーンベンチ(垂直層流型)



NKB-VS-850
¥780,000
NKB-VS-1300
¥880,000

NK式クリーンベンチ(垂直層流両面型)

無菌作業の能率アップに！



NKB-VW-850
¥1,200,000
NKB-VW-1300
¥1,500,000

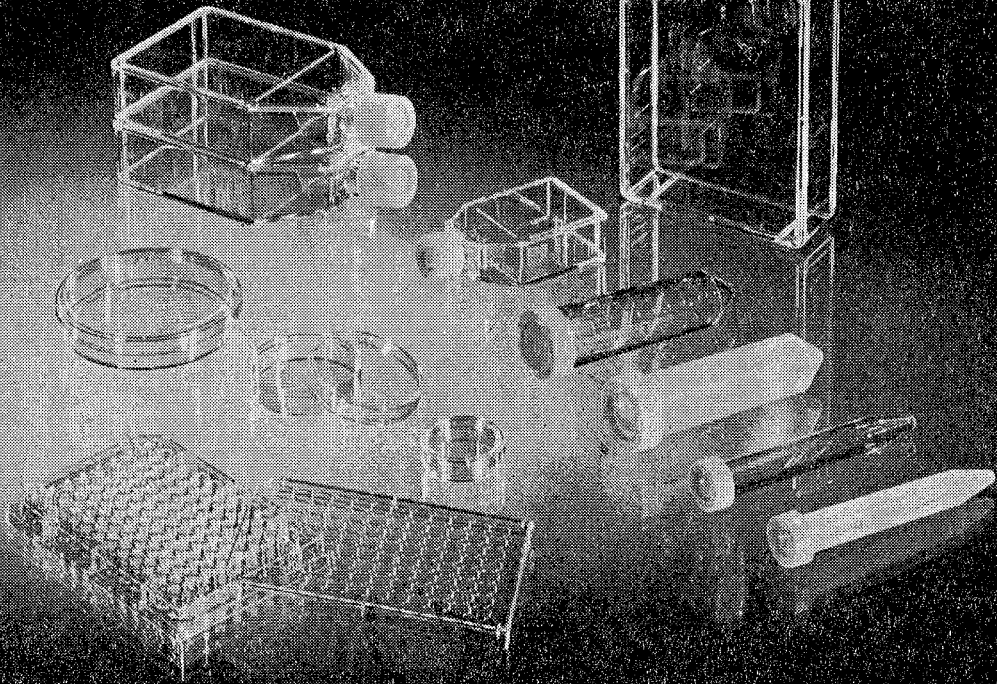
NKS 株式会社 日本医化器械製作所

本社 〒550 大阪市西区江戸堀1丁目19番24号 電話 大阪 06(443)0712(代)
東京営業所 〒183 東京都府中市緑町7-053-4 電話 府中 0423(65)3245(代)
工場 〒583 羽曳野市駒ヶ谷5番地47号 電話 羽曳野0729(58)1919(代)

CORNING

組織培養用プラスチック製品

ご満足いただけないCORNING組織培養用プラスチック製品は、無償でお取替えることをお約束します。



**PYREX®のコーニングが提供する組織培養用プラスチック製品は
実験のバラツキを解消します。**

●無菌生産

コーニングの組織培養用製品は、無菌環境で作られています。このためバクテリアは勿論、機械油の蒸気やほこり等の付着もなく、培養特性が安定しています。

●フォームラック

コーニングの遠沈管・培養管には、フォームラック付きがあります。収納や運搬に便利なうえ、ガタツキがないため傷をつけることがなく、沈澱物が再浮遊する心配もありません。

●100%リークテスト

コーニングのフラスコは、全数圧力試験を行っております。また厚手に成形されていますので、リークやクラックの心配はありません。

●ダブルシールキャップ

ダブルシールキャップは、容器の口部内側と端部の2箇所ですりしめるもので、漏洩を完全に防ぎます。

●クロスコンタミネーション防止

マイクロプレートは、孔が独立しており、クロスコンタミネーションの危険がありません。

CODE	品名	品種	個/パック	個/ケース	材質(本体)	表面処理	滅菌	備考
25000	ベトリ皿	35φ×10mm	20	500	スチロール樹脂	○	無菌生産	
25010		60φ×15mm	20	500	"	○	"	
25020		100φ×20mm	20	500	"	○	"	
25100	フラスコ	25cm ³ (70mℓ)	20	300	スチロール樹脂	○	無菌生産	カントネック、ダブルシールキャップ
25110		75cm ³ (270mℓ)	5	100	"	○	"	"
25120		150cm ³ (600mℓ)	5	40	"	○	"	"
25140	ローラー ボトル	850cm ³ (2350mℓ)	2	36	スチロール樹脂	○	γ線	ダブルシールキャップ
25200	培養管	16φ×125ラック付	50	500	スチロール樹脂	○	無菌生産	ダブルシールキャップ
25310	遠沈管	15mℓラック付き	50	500	スチロール樹脂	—	γ線	許容遠心力1800 G、ダブルシールキャップ
25330		50mℓラック付き	25	300	ポリプロピレン	—	E T O	" 5000 G "
25820	マイクロ プレート	24孔、平底、蓋付き	1	50	スチロール樹脂	○	γ線	
25860		96孔、平底、蓋付き	1	50	"	○	"	

●表面処理は、親水性と細胞親和性を与えるもので、コーティングではありません。
●ETOは、エチレンオキシド・ガス滅菌です。
●詳細はカタログをご請求ください。

岩城硝子株式会社

本社 千100 東京都千代田区丸の内3-2-3 (富士ビル)

本社販売部 ☎ 03(214)7401(代)
大阪支店 ☎ 06(362)6291(代)
名古屋支店 ☎ 052(211)3855(代)

九州支店 ☎ 092(451)5606(代)
広島支店 ☎ 082(248)0293(代)
札幌営業所 ☎ 011(221)3477(代)